

With

第14号(2023年度 NO.6) 令和6年3月1日(金)発行

例年になく雪が少ない2月を終え、日に日に春の兆しを感じる3月に入りました。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校では、まもなく卒業式と修了式を迎えます。来たるその日に向けたまとめの学習と新学期を迎えるための学習に、児童生徒は期待感をもって毎日取り組んでいます。

去る2月21日(水)、今年度最後の本校部会と分校部会合同の第4回学校運営協議会を開催しました。今年度の学校評価結果の説明、コミュニティ・スクールの活動報告、令和6年度学校経営方針及び学校運営協議会運営方針の説明を行いました。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校両部会の学校運営協議会委員の皆様が同時に会するのは6月の学校運営協議会以来となります。そこで、好きな動物を織り交ぜた自己紹介を行い、場が和んだ中、会は進行されました。次年度の教育活動やコミュニティ・スクールの取組について意見交換を行ったのち、学校経営方針について承認いただき、閉会となりました。今号では、第4回学校運営協議会の内容についてお知らせいたします。



◆令和5年度学校評価結果説明・協議

学校評価結果の分析より、まとめと改善の方向性について、両校教頭より説明がありました。学校評価の詳細については、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校のホームページを御覧ください。

七飯養護学校のまとめ

- ア 進路等の情報説明について、保護者へのより分かりやすい説明に努める必要がある。
- イ ICT機器の活用に関する情報発信は昨年より改善したものの、さらなる改善の余地がある。
- ウ PTA活動と学校運営協議会について、全体への情報発信が課題である。

七飯養護学校おしま学園分校のまとめ

- ア 教育目標や経営方針、教育課程の特徴についてさらに理解を深め保護者や関係施設職員に説明できることが大切である。
- イ 危機管理マニュアル等に関して、訓練の様子や緊急時の対策について、保護者や関係施設職員にさらに理解を深めていただく工夫をする。
- ウ 本校としての進路指導のあり方について検討する。

石別ふれあう会委員と学校運営協議会委員の皆様のアンケートからは、長年のつながり並びに地

学校評価

総括(改善の方向性)

- 1 ICTを効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、教育課程の改善に取り組んでいく必要がある。
- 2 保護者、地域に向けた本校の教育活動についての情報発信を内容を分かりやすく、発信の仕方を工夫してより伝わるような取組を行う必要がある。
- 3 学校運営協議会を通して地域との連携・協働を進めるとともに、地域の小中高校との交流・共同学習を充実させ、共生社会の形成や地域での特別支援教育への理解促進に向けた取組を進める必要がある。
- 4 児童生徒へ向き合う時間の確保や教職員のライフワークバランスを意識した働き方改革の推進に向け、組織内の横断的な連携や情報共有、ICTの効果的な活用など業務の効率化に向け取り組む必要がある。

図1 七飯養護学校学校評価総括

学校評価

総括(改善の方向性)

- 1 本校の教育目標や学校経営方針等について、教職員の共通理解と保護者や関係施設職員、地域に対して分かりやすく説明したり、共有したりするために、説明する機会や情報発信の工夫が必要である。
- 2 小中高の系統性や連続性を踏まえた教育課程の改善、充実に取り組む。特に児童生徒の将来を見据えた進路指導が求められおり、全校で見直しや充実を図っていくことが必要である。
- 3 地域とともにある学校づくりの推進について、令和7年度の分掌業務へ移行を見据え、持続可能で計画的な地域資源を活用した学習の拡大充実に向けて、CS関連業務について関連部署(学部・分掌)と連携する必要がある。
- 4 安心安全な学校づくりに向けて、安全に配慮し、安心できる教育環境を整え、危険回避や予防的な対応のみならず、適切な初期対応を重視する組織的(チーム)な体制を充実させる必要がある。

図2 七飯養護学校おしま学園分校学校評価総括

域での教育活動を継続してきたことで、多くの地域の方に御理解を頂いていた。また、そのアンケートの中で、「高齢者の声を聴く機会があると良い」「町内会や通常学級生徒との交流は両者の垣根を取り払う活動」「小中連携の行事を子供達も楽しみにしている」などの御意見を頂いた。



◆コミュニティ・スクール活動報告

七飯養護学校から、大いに盛り上がった絵本や紙芝居読み聞かせ、地域の学校や保護者とともに創り上げた「七養☆アート展」について報告がありました。七飯養護学校おしま学園分校からは、各学部の With プロジェクトの他、「四者合同ふれあい大運動会」や「トラピスト通り並木道ライトアップ見学」、「いさりび鉄道作品展」について

報告がありました。どの活動においても、学校運営協議会委員の皆さんからの御助言があってこそ成功させることができました。誠にありがとうございます。活動報告について、「学校での取組はなかなか外部には見えないものなので、このような報告があるのは良い。このような取組を知っていただく機会を設けていくことが課題である。」という御意見を頂きました。次年度の活動に生かして参ります。



◆令和6年度学校経営方針及び学校運営協議会説明・協議



学校長より、両校の置かれている現状や課題等を受け、令和6年度の学校経営方針について説明がなされました。七飯養護学校では、学校の^{きょうい}狭隘化や保護者が安心できる取組、子ども主体の学びの追求が課題であることが説明されました。保護者をどう巻き込んでいくのか、どのように保護者に情報発信をしていくのか、紙媒体よりもスマートフォンを利用した情報収集が有効である等の御意見を頂きました。七飯養護学校おしま学園分校では、自閉スペクトラム症などへの対応、コミュニティ・スクールの充実が課題であることが説明されました。分校の児童生徒

とともに盛大に行事を運営していきたい、子ども主体の学びの追求について石別小・中学校の交流学习において協力して進めていきたい等の御意見を頂きました。両校の課題を踏まえ、図3のような令和6年度の重点を示しました。

また、学校運営協議会については今年度同様に本校部会と分校部会を置き、本校より会長を選出し進めていき、年4回の学校運営協議会を実施することの説明がなされました。

それぞれの説明及び協議の後、令和6年度の学校経営方針並びに学校運営協議会について、承認されました。

令和6年度の重点

「チームで、より子どもたちのためになる学校づくりの推進」

- 保護者や地域との連携による、子どもたちの学びの機会を広げ、感謝を伝え合う教育活動の推進
- 一人一人の適切な学びと、他者との学び合いによる子ども主体の学びの追求
- 元気に子どもたちの前に立ち、効果的な教育活動を持続的に行うための働き方改革の一層の推進

図3 七飯養護学校・おしま学園分校の令和6年度の重点

令和5年度の学校運営協議会を無事に終えることができました。これまでそれぞれ4回ずつの協議会を開催し、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校の児童生徒のために多くの御示唆をいただき、また地域の皆さんの多大なる御尽力のおかげで、児童生徒の経験を広げ、学びを深めることができました。本当にありがとうございました。学校と地域が協働し、「地域とともにある学校」の実現を目指すコミュニティ・スクールは次年度も続きます。今後とも、変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。学校運営協議会や学校と地域の協働活動につきまして何かございましたらお気軽に御連絡ください。(七飯養護学校 0138-65-7004 七飯養護学校おしま学園分校 0138-75-2717)